

資料 1

重度訪問介護の訪問先の拡大

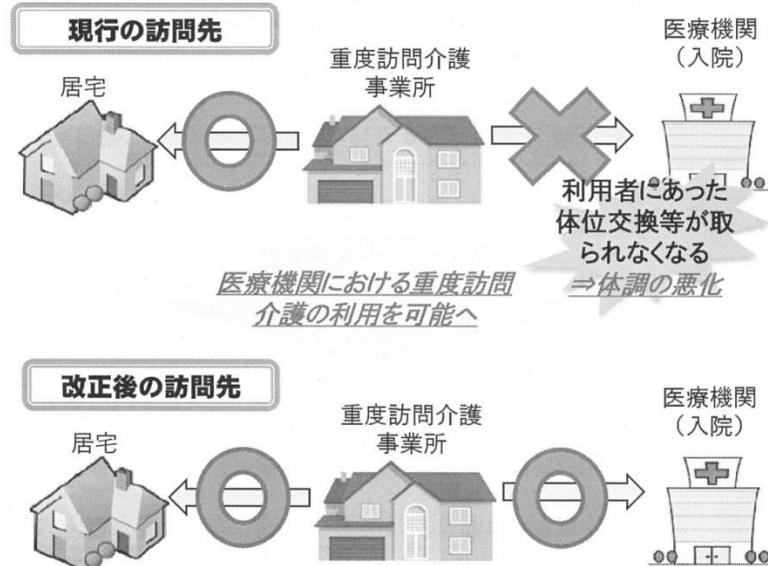
- 四肢の麻痺及び寝たきりの状態にある者等の最重度の障害者が医療機関に入院した時には、重度訪問介護の支援が受けられなくなることから以下のような事例があるとの指摘がある。
 - ・体位交換などについて特殊な介護が必要な者に適切な方法が取られにくくなることにより苦痛が生じてしまう
 - ・行動上著しい困難を有する者について、本人の障害特性に応じた支援が行われないことにより、強い不安や恐怖等による混乱(パニック)を起し、自傷行為等に至ってしまう
- このため、最重度の障害者であって重度訪問介護を利用している者に対し、入院中の医療機関においても、利用者の状態などを熟知しているヘルパーを引き続き利用し、そのニーズを的確に医療従事者に伝達する等の支援を行うことができることとする。

訪問先拡大の対象者

- 日常的に重度訪問介護を利用している最重度の障害者であって、医療機関に入院した者
 - ※障害支援区分6の者を対象とする予定
 - ※通院については現行制度の移動中の支援として、既に対応

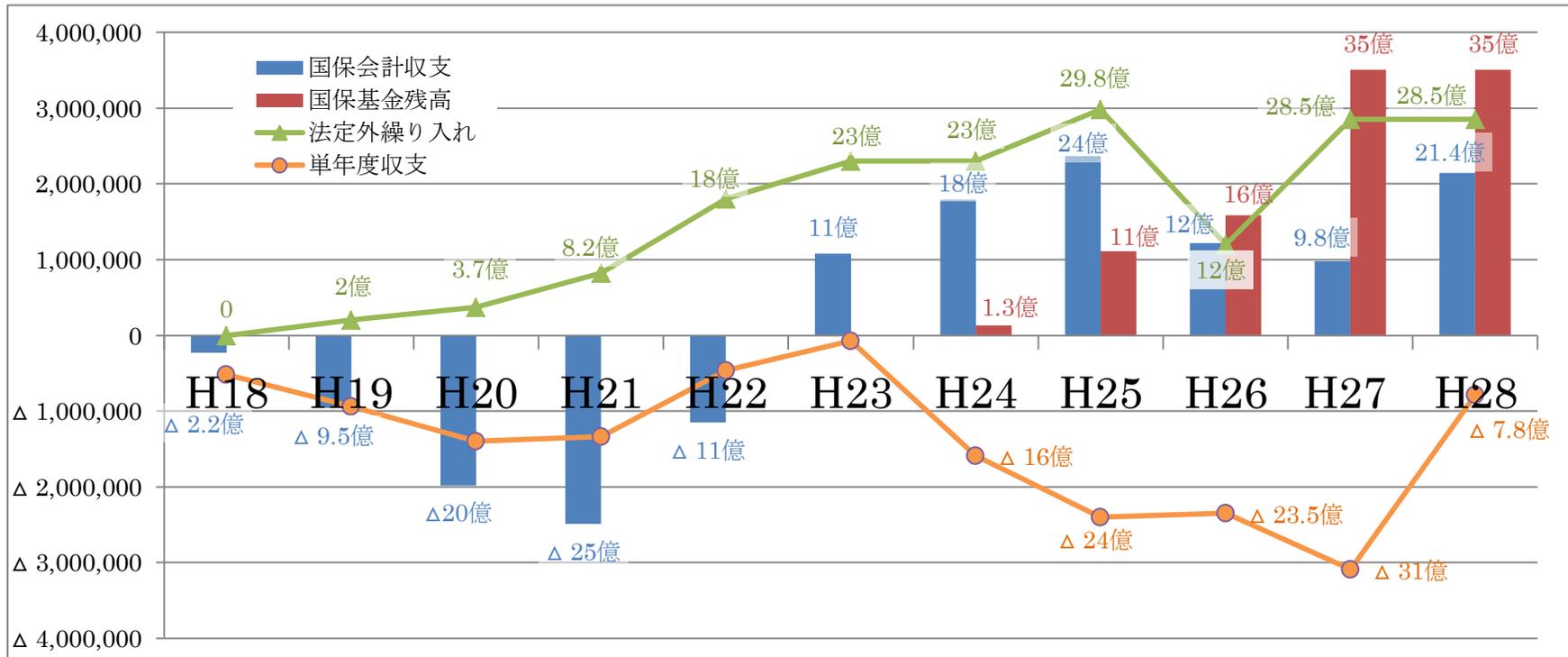
訪問先での支援内容

- 利用者ごとに異なる特殊な介護方法(例:体位交換)について、医療従事者などに的確に伝達し、適切な対応につなげる。
- 強い不安や恐怖等による混乱(パニック)を防ぐための本人に合った環境や生活習慣を医療従事者に伝達し、病室等の環境調整や対応の改善につなげる。



資料2

国保会計の収支状況の推移



(単位: 千円)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
国保会計収支	△ 227,029	△ 958,092	△ 1,980,177	△ 2,488,083	△ 1,148,096	1,082,027	1,790,588	2,367,943	1,219,326	980,318	2,145,981
国保基金残高	0	0	0	0	0	0	129,190	1,109,529	1,584,917	3,507,528	3,508,291
法定外繰り入れ	0	205,000	371,000	825,000	1,800,000	2,300,000	2,300,000	2,980,000	1,200,000	2,850,000	2,850,000
単年度収支	△519,073	△ 936,063	△ 1,393,085	△ 1,332,906	△ 460,013	△ 69,877	△ 1,591,439	△ 2,402,645	△ 2,348,617	△ 3,089,008	△ 784,337

各年度の岡山市国民健康保険運営協議会資料より作成

